

殺菌剤
スクレアフロアブル
マンデストロビン水和剤

令和5年9月6日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

- ・作物名「つるむらさき」を追加する。
- ・作物名「ブロッコリー」に適用病害虫名「黒すす病」を追加する。
- ・作物名「たまねぎ」に適用病害虫名「灰色かび病」を追加する。

【変更部分】

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | マンデストロビンを含む農薬の総使用回数 |
|--------|------------------------|-------|------------------|---------|---------|------|---------------------|
| つるむらさき | 紫斑病 | 3000倍 | 100~300 L/10a | 収穫7日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 |
| ブロッコリー | 菌核病 黒すす病 | 2000倍 | | 収穫前日まで | | | |
| たまねぎ | 小菌核病 灰色かび病 灰色腐敗病 | | | | | | |

使用上の注意事項の変更

【変更後】

- ・なしに使用する場合、花卉の焼け、葉への褐点発生等の薬害を生じるおそれがあるので、次の点に注意すること。
 - ① 開花期に使用する場合は、展着剤を加用しないこと。
 - ② 他の薬剤を混用する場合や展着剤を加用する場合は、事前に薬害の有無を十分に確認してから使用すること。
 - ③ 気象条件等により散布時や散布後に湿度が高く、薬液が長時間乾かなかつた場合は、薬害が生じやすいので、使用しないこと。
 - ④ 施設栽培、トンネル栽培、雨除け栽培などの多湿になりやすい条件下では薬液が乾きにくいおそれがあるため、注意して使用すること。
 - ⑤ 高温多湿となりやすい施設栽培の場合は、散布前後に十分な換気を行い、極端な高温多湿となりやすい条件の場合は散布しないこと。

【追加事項】

- ・施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を防ぐため散布前後に十分な換気を行うこと。また、特に極端な高温多湿となりやすい条件の場合は使用しないこと。
- ・みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用后14日間は入水しないこと。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社